



認 定 書

国 住 指 第 6 2 6 号
平成 29 年 5 月 30 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 安田 正介 様

国土交通大臣 石井 啓一



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0897
2. 認定をした構造方法等の名称
合成樹脂塗装紙壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 材料名

合成樹脂塗装紙壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））

2. 形状及び寸法等

| 項 目 | 仕 様 |
|-----------------------------|--|
| 形 状 | 平板 |
| 表 面 形 状 | (1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1) 平滑 (2) 粗面 (3) エンボス |
| 表面化粧材の厚さ(mm) | 5.0 \pm 0.5以下 |
| 表面化粧材の質量(g/m ²) | 450.0 \pm 45.0以下 |

3. 材料構成

| 項 目 | 仕 様 |
|-----------|---|
| 表 面 化 粧 材 | <p>合成樹脂塗装紙壁紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ5.0\pm0.5mm以下 ・ 質量450.0\pm45.0g/m²以下(有機質量230.0\pm23.0g/m²以下) ・ 構成： <ul style="list-style-type: none"> [1] 化粧：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は(1)と(2)の組合せとする <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量150.0\pm15.0g/m²（固形量）以下（有機質量40.0\pm4.0g/m²以下） (1) 合成樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量120.0\pm12.0g/m²（固形量）以下 （有機質量30.0\pm3.0g/m²以下） ・ 構成（g/m²）： <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂^{※1} …30.0\pm3.0以下 （但し、ポリエステル系の場合は23.3\pm2.4以下とする） （合成樹脂^{※1}の中に有機質系添加剤^{※2}を0～8.0\pm0.8含む） 無機質系材料^{※3}無機質系充てん材^{※4}0～100.0\pm10.0 （但し、無機質系添加剤^{※5}を0～20.0\pm2.0含む） (2) 印刷インキ：質量30.0\pm3.0g/m²（固形量）以下（有機質量20.0\pm2.0g/m²以下） <ul style="list-style-type: none"> ・ 構成（g/m²）： <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂インキ^{※6} …20.0\pm2.0以下 無機質系充てん材^{※4}、無機質系顔料^{※4}、無機質系添加剤^{※5} …0～10.0\pm1.0 (3) なし |

| 項 目 | 仕 様 |
|----------------|--|
| 表面化粧材 (つづき) | <p>[2] 主素材^{※7}：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ3.0 ± 0.3mm以下 ・ 質量300.0 ± 30.0g/m²以下 (有機質量190.0 ± 19.0g/m²以下) ・ 構成：(1) 又は (1) と (2) の組合せ又は (1) ～ (3) の組合せとする <p>(1) 上層紙^{※8}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量300.0 ± 30.0g/m²以下 (有機質量190.0 ± 19.0g/m²以下) ・ 構成 (g/m²)：1) 又は1) と2) の組合せとする <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ①有機繊維^{※9} …190.0 ± 19.0以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機繊維^{※9}を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}45.6 ± 4.6以下とし、かつ有機質量を152.0 ± 15.2以下とする。) ②合成樹脂^{※1. ※8}…25.8 ± 2.6以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0 \sim 5.0 \pm 0.5$含む) 有機繊維^{※9} …137.0 ± 13.7以下 (但し、合成樹脂^{※1. ※8}を使用する場合、有機質量を138.0 ± 13.8以下とする。有機繊維^{※9}として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機繊維^{※9}を組合せて使用する場合は合成樹脂系繊維^{※10}は$1.0 \pm 0.1 \sim 50.6 \pm 5.1$とする。) <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様又は組合せとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ①無機質系充てん材^{※4} …$0 \sim 120.0 \pm 12.0$ ②無機質系繊維^{※11} …$0 \sim 120.0 \pm 12.0$ <p>(2) 下層紙^{※8}</p> <p>I)、II)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>I) あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量150.0 ± 15.0g/m²以下 (有機質量100.0 ± 10.0g/m²以下) ・ 構成 (g/m²)：1) 又は1) と2) の組合せとする <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ①有機繊維^{※9} …100.0 ± 10.0以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機繊維^{※9}を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}24.0 ± 2.4以下とし、かつ有機質量を80.0 ± 8.0以下とする。) ②合成樹脂^{※1. ※8}…13.6 ± 1.4以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0 \sim 2.5 \pm 0.3$含む) 有機繊維^{※9} ……72.0 ± 7.2以下 (但し、合成樹脂^{※1. ※8}を使用する場合、有機質量を73.0 ± 7.3以下とする。有機繊維^{※9}として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機繊維^{※9}を組合せて使用する場合は合成樹脂系繊維^{※10}は$1.0 \pm 0.1 \sim 26.2 \pm 2.6$とする。) <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様又は組合せとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ①無機質系充てん材^{※4} …$0 \sim 120.0 \pm 12.0$ ②無機質系繊維^{※11} …$0 \sim 120.0 \pm 12.0$ <p>II) なし</p> |

| 項 目 | 仕 様 |
|----------------|---|
| 表面化粧材 (つづき) | <p>(3) 主素材接着剤^{※8} I)、II)のうち、いずれか一仕様とする I) あり ・質量$45.0 \pm 4.5 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$35.0 \pm 3.5 \text{ g/m}^2$ 以下) ・構成 (g/m^2): 1) 又は1) と2) の組合せとする 1) 有機質: ①～⑤のうち、いずれか一仕様とする ①エチレン酢酸ビニル系樹脂 …35.0 ± 3.5 以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0 \sim 3.5 \pm 0.4$ 含む) ②酢酸ビニル系樹脂 …35.0 ± 3.5 以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0 \sim 3.5 \pm 0.4$ 含む) ③でん粉系糊 …35.0 ± 3.5 以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0 \sim 3.5 \pm 0.4$ 含む) ④酢酸ビニル・アクリル系樹脂 …30.0 ± 3.0 以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0 \sim 3.0 \pm 0.3$ 含む) ⑤アクリル系樹脂 …29.0 ± 2.9 以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0 \sim 3.0 \pm 0.3$ 含む) 2) 無機質 無機質系充てん材^{※4}、無機質系添加剤^{※5} …$0 \sim 10.0 \pm 1.0$ II) なし</p> <p>※1: 合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、アクリルスチレン系、シリコン系、ポリエステル系、ワックス系、ニトロセルロース系、エチレングリコール系、マレイン酸系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2: 有機質系添加剤は、発泡剤 (アゾジカルボンアミド系、オキシベンゾンスルホニル系)、防かび剤、有機系機能性材料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3: 無機質系材料は、シリカ、ひる石、ゼオライト、けい藻土、マイカ、ガラス、クレイ、炭酸カルシウム、セラミック、アルミニウム、錫、銅、亜鉛、鉄、銀、白金、金のいずれか、又は組合せとする。形状は、粉体、粒子、はく、シート、糸状のいずれかとする。</p> <p>※4: 無機質系充てん材、無機質系顔料は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、硝酸亜鉛、シリカ、珪藻土、金属粉 (アルミニウム)、鉱物粒及び鉱物粉のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※5: 無機質系添加剤は、シリカ、光触媒酸化チタン、無機質系抗菌剤、無機質系機能材料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※6: 合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エチレングリコールのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※7: 主素材は、紙、無機質紙、不織布 (non woven paper) のいずれかとする。</p> <p>※8: アゾ系、キノ系染料、又はアゾ系顔料、フラシアニン系顔料、縮合多環系顔料、無機質系顔料^{※4}を含む場合がある。</p> <p>※9: 有機繊維は、パルプ、綿、麻、レーヨン、スルホン化アセテート、セルロース系繊維、合成樹脂系繊維^{※10}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※10: 合成樹脂系繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニリデン、ポリ塩化ビニル、ポリエステル、アクリル、ポリビニルアルコール、ポリウレタンのいずれか一仕様、又は組合せとする。</p> |

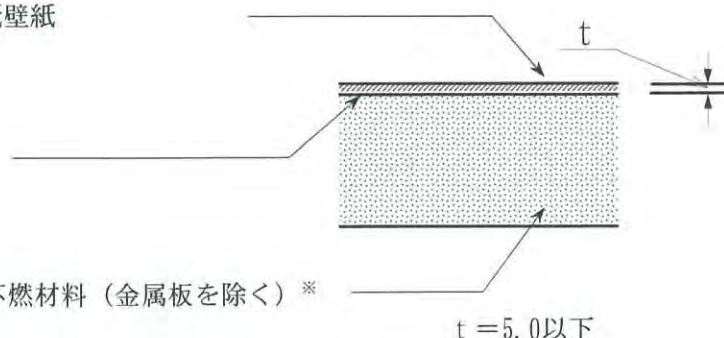
| 項 目 | 仕 様 |
|--------------------|---|
| 表 面 化 粧 材 (つづき) | ※11:無機質系繊維は、金属繊維、ガラス繊維、炭素繊維のいずれか一仕様、又は組合せとする |
| 接着剤及び シーラー | <p>1)、2)、のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$60.0_{\pm 6.0}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60.0_{\pm 6.0}\text{g/m}^2$以下) ・構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする <ul style="list-style-type: none"> [1]でん粉系接着剤 <ul style="list-style-type: none"> ・質量$60.0_{\pm 6.0}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60.0_{\pm 6.0}\text{g/m}^2$以下) 組成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> でん粉のり……………$80_{\pm 2}$以上 補強剤※12……………$20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし) [2]シーラー:合成樹脂※13 <ul style="list-style-type: none"> ・質量$10.0_{\pm 1.0}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10.0_{\pm 1.0}\text{g/m}^2$以下) <p>2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$40.0_{\pm 4.0}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40.0_{\pm 4.0}\text{g/m}^2$以下) ・構成:以下の[1]または[1]と[2]を組合せた仕様とする <ul style="list-style-type: none"> [1]メチルセルロース系接着剤 <ul style="list-style-type: none"> ・質量$40.0_{\pm 4.0}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40.0_{\pm 4.0}\text{g/m}^2$以下) 組成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> メチルセルロース……………$80_{\pm 2}$以上 補強剤※12……………$20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし) [2]シーラー:合成樹脂※13 <ul style="list-style-type: none"> ・質量$10.0_{\pm 1.0}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10.0_{\pm 1.0}\text{g/m}^2$以下) <p>※12:補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする</p> <p>※13:合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン(アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、またはシーラーなしとする</p> |
| 基 材 | <p>準不燃材料及び不燃材料(金属板を除く)</p> <p>平成12年建設省告示第1401号第1第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p> |

4. 構造説明図(寸法単位: mm)

1) 表面化粧材: 合成樹脂塗装紙壁紙

2) 接着剤及びシーラー

3) 基 材: 準不燃材料及び不燃材料(金属板を除く)※



※平成12年建設省告示第1401号第1第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの